

市長	副市長	教育長	教育次長	課長	館長	課長補佐	係長	記録

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】  
【会議名：糸魚川市博物館協議会 運営部会】

開示  
一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)  
不開示  
時限不開示 (開示: 年 月 日)

## 会 議 録

作成日 平成 24 年 9 月 13 日

日	平成 24 年 9 月 5 日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	フォッサマグナミュージアム 体験学習室
件名	議題(1) 入館者、事業等の状況について (公開) 議題(2) ショップ販売状況について (公開) 議題(3) リニューアルプランについて (公開)				
出席者	【出席者】 6人 運営部会 片山会長 伊藤委員 池原委員 岩崎委員 小野委員 中村委員  【事務局】 博物館 高橋館長 宮島参事(館長補佐) 竹之内副参事(学芸係長) 山本係長(業務係長) 茨木主任学芸員 山崎主任主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0人

### 会議要旨

#### 1 開会(13:30)

【事務局】 高橋館長あいさつ

【会長】 片山会長あいさつ

#### 2 議題

(1) 入館者、事業等の状況について

(2) ショップ販売状況について

【事務局】 山本係長 議題(1)・(2)について説明。

#### 質疑

【委員】 昨年は震災の影響で人の動きが途絶えた。関東圏の学校団体では震災のため東北に行かなくなった分、長野県・新潟県に来ている。フォッサマグナミュージアムも子どもの団体が前年より増えた。今年は東北の復興により東北に戻りはじめているので、長野県へ来る人は減っている。今年度の学校団体の利用の状況はどうか。

【館長】 正確な数字は無いが、東北へ行っていた学校が長野県やこちらに来ていることはある。平成 23 年は 6 月は前年より増えたが他の月は前年より減っている。昨年学校関係で増えた団体は、ほぼ皆今年も来ている。昨年 6 月に入館者が増えたのは、高速道路の休日割引が無くなる前の駆け込み利用が考えられる。

- 【会 長】 長野県は今年は(人の入りが)よくないと聞いている。
- 【事務局】 資料3ページの、関東方面からの学校の利用は、平成23年度から増えている。東北からこちらに来た学校で把握しているのは、埼玉県内の高校でいわきからこちらに来て、今年も利用していただいた。ほかの学校も今年もこちらに来ており、減っている印象はない。
- 【会 長】 今後の特別展の予定はあるか。
- 【館 長】 今年もきらら青海で開催した。
- 【会 長】 年間サポーターへのアピール、他の館との交換特別展の開催も検討してほしい。
- 【委 員】 書籍の販売について、売上が少ないのは年度途中だからか。
- 【事務局】 年度途中だからである。
- 【委 員】 地元にある素晴らしい施設について、義務教育の中でどのように子供たちに伝えていくのか。年に1回ないし2回は利用してほしい。地元の学校がどれだけ利用したか記録を残してほしい。今年は糸魚川小学校に「ジオパーククラブ」ができた。このような活動を今後に残していきたい。
- 【委 員】 学校のカリキュラムの中にあれがいいが。
- 【館 長】 学校での利用が増えると、学芸員が説明することになる。全学校で取り組むとなると、学芸員による対応は難しくなる。
- 【委 員】 館内の説明ができるボランティアガイドはいるのか。
- 【会 長】 何人かいる。利用してもらいたい。
- 【館 長】 観光バスに乗って案内してくれている人がいる。館としての受け入れ体制を整えたい。
- 【委 員】 学校での利用は小学校3・4年生が多い。担任の先生が決めてやっている。フォッサマグナミュージアムの展示内容であれば、6年生の理科で活用できる。他の内容はボランティアが対応、理科の学習は学芸員が対応、というように、中身によって担当を選び分けた方がいい。高校は今年指導要領が変更された。「基礎」の付く3科目＝基礎地学、基礎生物、基礎化学を勉強する学校が多くなった。3教科やらざるを得なくなった。エージェントなどに、実地で学習できるメリットをアピールするべき。
- 【館 長】 東北から行き先をこちらに移した方々に今後も来てもらうため、今年の冬に関東地方へ営業に行った。学校の年度計画は、冬の間、1～3月に決まるのか。
- 【委 員】 前年度ということもない。特に総合学習などは新年度に入ってから決める。
- 【委 員】 集団登山を続けている学校もある。フォッサマグナミュージアム見学も毎年の行事にしてもらえばいい。先日、先生方をマイコミ平の案内をしたが、参加人数が少なかった。
- 【委 員】 ある程度学校・学年の裁量に任せてある部分がかかなりあるのではないかと。3学期に学校評価が終わった後、早ければ2月中旬くらいから次年度計画を立てている学校が多いと思う。0～18歳の一貫教育で、今年度から「あいさつ運動」で終わっている。新鮮味がない。学習指導要領も4年生あたりから分厚くなってきている。マンガ調でもいいので、ジオパークの副読本を作ってはどうか。
- 【事務局】 昨年度、小学5・6年生用の副読本を作成した。今年度は小学3・4年生用の、理科と総合学習の副読本を作成している。

【会 長】 子どもが地元を離れたら、地元ですばらしいものがあることをよそで言ってもらいたい。

【事務局】 小中学校に利用してもらいたいが、依頼してくるのは理科が得意な先生ばかりで、理科が苦手な先生は来てくれない。ジオパーク推進室と組んで先生向けのツアーを実施しているが、成果が上がっていない。

【会 長】 学芸員が忙しいなら、ジオガイドをもっと活用してほしい。活躍の場がないガイドがいる。

【館 長】 ガイドの「やる気の火」が消えないうちに活躍する場をつくりたい。市内の観光ガイドを試験的に7～8月の土日にやっていただいた。

【委 員】 資料3ページの学校の利用は県内の学校が書いてないが、県内の学校の利用はないのか。

【事務局】 資料には書いてないが、ある。

【委 員】 遠方の学校の利用が増えたきっかけは何か。

【事務局】 ある学校は、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールという補助制度に採択されたことがきっかけ。

【事務局】 聖学院は10年以上来ている。ほかに、東京学芸大の先生から情報を聞いて来ている学校もある。埼玉県で県立の高校の先生の、地学教員のネットワークがあり、情報が共有されている。ネットで検索しただけで行き先を決めるのではなく、口コミの情報が重要。ただ、進学校が来ることだけを手放しで喜んでいてはいけない。

【委 員】 新幹線の開通に合わせて、関西圏からも来てもらえるようにならないか、あるいは関西圏には他のジオパークや博物館など行き先があるのか。学芸員が忙しくならないように、ボランティアの方々を活用してもらいたい。

【委 員】 9月15～17日に、妙高の国立青少年自然の家の行事でフォッサマグナミュージアムを利用する、また、未確定だが来年は大きな大会があると聞いたが、そういった機関と連携することは重要。

【事務局】 マイコミ平のツアーの参加人数が少なかったのは、参加者が多くなることが予想されたので、昨年参加した先生は参加できないことにしたため。

【会 長】 マイコミ平ツアーは、募集開始の発表と同時にいっぱいになる。

【委 員】 マイコミ平は今年と来年で道と階段の整備をすることになっている。

【事務局】 今年、下見の時に転んで手首を骨折した人がいる。早急に公開しない方がいい。一気に味わってしまわないほうが、長持ちする。年によって積雪量が違い、今年と昨年の7月では全く状況が違う。

【委 員】 今年は雪の量が多かった。ムシトリスミレは保護のため道の整備をしないといけない。保護と入山者の人数のコントロールは別。

### (3) リニューアルについて

【事務局】 宮島館長補佐 議題(3)について説明

#### 質疑

【委 員】 ジオパークの情報センターは面積が小さくなるのか。

- 【会 長】 完成はいつか。
- 【館 長】 平成 26 年度（平成 27 年）3 月に完成させたい。新幹線開通に合わせたい。平成 25 年度に実施設計をしたい。
- 【事務局】 野尻湖ナウマンゾウ博物館はリニューアルのスケジュールはどのようにしたか。
- 【委 員】 冬の間だけ休館にして工事した。2 年かけて半分ずつ工事した。
- 【事務局】 2 年に分けるとコストが高くなるのでは。
- 【委 員】 （展示プランの）展示ストーリーはとてもいい。しかし、このままだと、狭くて、展示物がそれぞれ分かれた展示になってしまい、全てが近くから見る展示であると、印象が残らなくなってしまう。今の平面プランのままでいいので、どこかの部屋を、離れたところから見るようにしてはどうか。
- 【事務局】 展示物を通路の両方から見るようにすることもできる。展示物を裏から見るのはおもしろい。
- 【委 員】 通路が狭いのではないか。高峰 30 座の展示はあるのか。
- 【事務局】 「高山の石たち」に入る。
- 【委 員】 梅海新道の石は展示されるのか。
- 【事務局】 「山の石たち」に入る。
- 【事務局】 青海自然史の 2 階の鍾乳洞を切って持って来る案はなくなっている。せっきくの展示物なので切ってしまうのはもったいない。
- 【会 長】 新幹線の南口に使えないか、という話があると聞いた。駅の南口はものすごく広い。
- 【委 員】 福来口鍾乳洞には実際に入ることができないので、模型で味わってほしい、という思いで計画した。
- 【会 長】 展示について、「展示の説明の字が小さい」、「子どもの目線に配慮してほしい」という指摘を受けている。
- 【事務局】 子どもの目線について指摘されることは心外。車いすで入館するお客さんを想定してある。字が小さいことについては、展示物 1 つ 1 つの解説に説明文を入れてしまったことによる。展示物それぞれに説明を付けてある博物館はあまりない。
- 【委 員】 お客さんに持って行ってもらう、解説を書いた紙を置いたらいい。
- 【委 員】 石の庭は元にもどすのか。
- 【事務局】 宝石拾いは人気があるが、デザイン的によくない。設計者から、改善するよう指摘されている。
- 【委 員】 きらら青海にある岩石庭園はどうするのか。
- 【事務局】 青海の岩石庭園の石をこちらに持って来ることはない。フォッサマグナミュージアムにも、池の手前に糸魚川の東西の代表的な石を置いてある。当初はネームプレートを付けないことにしていたが、せっきくの石の展示なのでネームプレートを付けるなどの工夫が必要と考える。
- 【委 員】 4.6 トンのヒスイは展示室 2 と 3 の境へ持っていくことは可能か。
- 【事務局】 4.6 トンのヒスイはあまり美しくない。きれいなヒスイは最初の部屋に置く。2a の部屋はヒスイの科学的な説明がある。全方位から見えるようにするのもいい。
- 【事務局】 青海自然史にあるサンゴ礁のジオラマは、そのままこちらに持ってきたい。
- 【会 長】 研修室は 100 席とのことだが。

【事務局】 100人ということは2クラスに相当する。雨天の時の臨時的な食事のスペースにも使える。

【館長】 以前、中村委員から、何にでも使える部屋は、実際は何にも使えない、と指摘された。

【会長】 工事は冬の間にしてほしい。

【委員】 費用はどのくらいかけるのか。

【館長】 金額は未定である。平成26年度の3月完成を目指す、市民会館改築と重なる。国際会議(M&M)は平成28(2016)年9月。

【委員】 新幹線開業まで時間がない。市の予算には、緊急的な支出もある。(予定どおりにならない時のための)腹案として、2年にわたる案を作っておいてはどうか。その場合、展示室の工事を先にしたほうがよい。

【館長】 財政担当者は、1回でと言っている。当初案で10億かかるところを、資料3ページ上段のとおり、平成23年度暮れに5.5億とした。予算が不足した場合は、現在のプランから更に削ることになる。

【委員】 利用できる補助金の制度は。

【館長】 ない。

【委員】 きらら青海建設の時は、県から補助を受けている。

【館長】 新幹線の工事に関連した街づくりの補助金をもらうことを考えたが、国の財政状況が厳しくなり、新幹線関連の工事自体の一部も補助制度から外れてしまった。

### 3 その他

#### (1) 委員の任期について

【館長】 委員の任期は2年で、今期は平成23年4月から25年3月まで。予算的に、今回の協議会が今年度最後となる。2年間ありがとうございました。

### 4 閉会(15:30)